

平成 27 年度 検証結果報告書 (福島大学)

## 動物実験に関する検証結果報告書

(福島大学)

## 動物実験に関する外部検証事業

(国立大学法人動物実験施設協議会・公私立大学実験動物施設協議会)

平成 28 年 3 月

平成 28 年 3 月 29 日

福島大学  
学長 中井 勝己 殿

貴機関における動物実験の実施体制に関して、提出された自己点検・評価結果報告書  
に対する検証結果を通知します。

国立大学法人動物実験施設協議会・公私立大学実験動物施設協議会  
動物実験に関する外部検証事業  
検証委員会 委員長

対象機関：福島大学  
申請年月日：平成 27 年 7 月 28 日  
訪問調査年月日：平成 27 年 10 月 13 日  
調査員：松田 幸久（秋田大学）

#### 検証の総評

福島大学は人文社会学群、理工学群の 2 学群を有する大学で、動物実験は理工学群の共生システム理工学類において少数のマウスおよびラットを用い行われている。動物施設は 300 m<sup>2</sup>以下と小規模で、実験動物は専用飼育室（マウス飼育室 1 室、ラット飼育室 1 室）に設置された環境制御飼育装置内で適切な温湿度管理のもとに飼育されている。飼育室には前室を設けさらに飼育室と前室にそれぞれネズミ返しを取り付け厳重な逃亡防止措置を講じている。実験室は 5 室あり同様に逃亡防止措置がとられている。動物実験計画書も年間 5～6 件と少ないが「福島大学動物実験規程」に基づき学長の管理のもと動物実験委員会において適切に審議されている。特に、動物実験に関して優れた識見を有する者を外部委員として参加させていることは評価できる。平成 26 年度に国立大学法人動物実験施設協議会に加盟する際に未整備な部分を改善するように指摘されているが、その指摘に従い適切な動物実験の実施体制が整備され適切な実施状況にあることを今回の外部検証で確認した。

## 検証結果

### I. 規程及び体制等の整備状況

#### 1. 機関内規程

1) 機関による自己点検・評価結果 ■ 基本指針に適合する機関内規程が定められている。 □ 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。 □ 機関内規程が定められていない。
2) 自己点検・評価の妥当性 「福島大学動物実験規程」（平成 26 年 3 月 31 日制定）が定められ、その内容は文部科学省の基本指針に則したものである。よって、自己点検・評価の結果は、妥当である。
3) 検証の結果 ■ 基本指針に適合する機関内規程が定められている。 □ 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。 □ 機関内規程が定められていない。
4) 改善に向けた意見 特になし。

#### 2. 動物実験委員会

1) 機関による自己点検・評価結果 ■ 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。 □ 動物実験委員会は置かれているが、一部に改善すべき点がある。 □ 動物実験委員会は置かれていない。
2) 自己点検・評価の妥当性 「福島大学動物実験規程」で基本指針に則した動物実験委員会の設置が定められ、委員の役割や構成も定められている。よって、自己点検・評価の結果は、妥当である。
3) 検証の結果 ■ 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。 □ 動物実験委員会は置かれているが、一部に改善すべき点がある。 □ 動物実験委員会は置かれていない。
4) 改善に向けた意見 特になし。

### 3. 動物実験の実施体制

1) 機関による自己点検・評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。 <input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制が定められていない。
2) 自己点検・評価の妥当性
「福島大学動物実験規程」において、動物実験計画の立案、審査、承認、結果報告等の手続きが規定され、手続きを進めるための各種様式も定められている。よって、自己点検・評価の結果は、妥当である。
3) 検証の結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。 <input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制が定められていない。
4) 改善に向けた意見
特になし。

### 4. 安全管理を要する動物実験の実施体制

1) 機関による自己点検・評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 該当する動物実験の実施体制が定められている。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験の実施体制が定められていない。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験は、行われていない。
2) 自己点検・評価の妥当性
遺伝子組換え実験については「福島大学遺伝子組換え実験安全管理規程」および「福島大学遺伝子組換え実験安全管理細則」が、RI 使用実験については「福島大学放射線障害予防規程」が、毒劇物使用実験については「福島大学毒劇物管理規程」がそれぞれ制定されている。また、緊急時の対応マニュアルも定められている。よって、自己点検・評価の結果は、妥当である。
3) 検証の結果
<input checked="" type="checkbox"/> 該当する動物実験の実施体制が定められている。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験の実施体制が定められていない。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験は、行われていない。
4) 改善に向けた意見

特になし。

#### 5. 実験動物の飼養保管の体制

##### 1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

##### 2) 自己点検・評価の妥当性

飼養保管施設の設置は動物実験委員会の調査および審査を経て、学長が承認する体制がとられている。各飼養保管施設には実験動物管理者が置かれ、各施設に整備された飼養保管マニュアルにより実験動物の飼養保管を行う体制となっている。よって、自己点検・評価の結果は、妥当である。

##### 3) 検証の結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

##### 4) 改善に向けた意見

特になし。

#### 6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

意見

特になし。

## II. 実施状況

### 1. 動物実験委員会

#### 1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針に適合し、適正に機能している。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

#### 2) 自己点検・評価の妥当性

7名の委員会からなる動物実験委員会により審査され、審査過程の記録も保管されている。飼養保管施設の調査、教育訓練等については基本指針や「福島大学動物実験規程」に定められた動物実験委員会により適正に実施されている。また、自己点検・評価については動物実験自己点検・自己評価委員会により適正に実施されている。よって、自己点検・評価の結果は、妥当である。

#### 3) 検証の結果

- 基本指針に適合し、適正に機能している。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

#### 4) 改善に向けた意見

特になし。

### 2. 動物実験の実施状況

#### 1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

#### 2) 自己点検・評価の妥当性

基本指針や「福島大学動物実験規程」に基づき動物実験計画の立案、審査が行われ、これを示す委員会の議事録も保管されている。また「実験結果報告書」もすべて提出され保管されている。よって、自己点検・評価の結果は、妥当である。

#### 3) 検証の結果

- 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

#### 4) 改善に向けた意見

特になし。

### 3. 安全管理を要する動物実験の実施状況

<p>1) 機関による自己点検・評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"><li><input type="checkbox"/> 該当する動物実験が適正に実施されている。</li><li><input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</li><li><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</li><li><input type="checkbox"/> 該当する動物実験は行われていない</li></ul>
<p>2) 自己点検・評価の妥当性</p> <p>遺伝子組換え実験、RI 使用実験、毒劇物を用いた実験など安全管理に注意を要する動物実験が適正に実施され、安全管理上の問題も生じていない。しかし、福島大学の自己点検・結果報告書にあるように感染症・咬傷等発生時のマニュアルが未整備である。よって、自己点検・評価の結果は、妥当である。</p>
<p>3) 検証の結果</p> <ul style="list-style-type: none"><li><input type="checkbox"/> 該当する動物実験が適正に実施されている。</li><li><input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</li><li><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</li><li><input type="checkbox"/> 該当する動物実験は行われていない</li></ul>
<p>4) 改善に向けた意見</p> <p>福島大学の自己点検・結果報告書にあるように感染症・咬傷等発生時のマニュアルを今年度中に整備し、安全管理を要する動物実験を確実に実施されたい。</p>

### 4. 実験動物の飼養保管状況

<p>1) 機関による自己点検・評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"><li><input type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。</li><li><input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</li><li><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</li></ul>
<p>2) 自己点検・評価の妥当性</p> <p>飼育動物は少数のマウスおよびラットだけ（年間使用数 100 匹以内）で、それぞれの専用飼育室（マウス飼育室 1 室、ラット飼育室 1 室）に設置された環境制御飼育装置内で適切な温湿度管理のもとに飼育されている。飼育室には前室を設けさらに飼育室と前室にネズミ返しを取り付け逃亡防止に対して厳重に対応している。しかし、福島大学の自己点検・結果報告書にあるように動物の逸走時の対応マニュアルおよび検疫体制が定まっていない。よって、自己点検・評価の結果は、妥当である。</p>

3) 検証の結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

4) 改善に向けた意見

福島大学の自己点検・結果報告書にあるように動物の逸走時の対応マニュアルおよび検疫体制を今年度中に確実に整備し、実施されたい。

5. 施設等の維持管理の状況

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検・評価の妥当性

動物実験委員会は事前視察により施設や設備の管理・保守点検は日常的に実施されていることを確認していたが、自己点検・評価では「これに関する記録がない」ことをもって「一部に改善すべき点がある」とした。しかし、訪問調査時にはすでに記録が作成され、保存されていることを確認した。よって、「基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。」とする。

3) 検証の結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

4) 改善に向けた意見

特になし。

6. 教育訓練の実施状況

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検・評価の妥当性

平成 26 年度の動物実験実施者は 6 名と少ないが、教育訓練が 2 回開催され、受講内容、受講者名簿も記録保管されている。講習内容もほぼ基本指針に則した内容となっている。よって、自



己点検・評価の結果は、妥当である。
3) 検証の結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
4) 改善に向けた意見 教育訓練の内容に人獣共通感染症に関する事項を加える必要がある。

## 7. 自己点検・評価、情報公開

1) 機関による自己点検・評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検・評価の妥当性 動物実験関連規則、自己点検・評価報告書と動物実験申請および承認件数、動物飼養数、飼養保管施設、動物実験委員会委員、教育訓練の実施状況等が大学のホームページに掲載されている。よって、自己点検・評価の結果は、妥当である。
3) 検証の結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
4) 改善に向けた意見 特になし。

## 8. その他

（動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果）

意見 特になし。
-------------